

## 「研究発表Ⅱ」

学校名 津久井浜高等学校 P T A

研究テーマ P T Aをとめるな！



津久井浜高校 P T A は、「たとえコロナであったとしても私たち津久井浜 P T A を止めることはできない！」を合言葉として、コロナ禍で活動が制限される中でもできることを全力で行っています！今回はその活動の一部をご紹介します。

### ☆津久井浜高校の紹介

緑が多く海の近くの落ち着いた雰囲気が自慢の津久井浜高校ですが、当校を語る上でかかせないものがインクルーシブ教育を意識した実践の数々です。

どのような支援が具体的に行われているのか、実際の授業風景と一緒に紹介しました。

『インクルーシブ教育実践推進校の取り組み』  
令和2年度から募集

◆【共生社会を目指して】  
共に過ごす中でお互いの事を分かり合えて、成長していく事を目標にしている学校です

- ・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの活用
- ・地区内特別支援学校のセンター的機能の活用
- ・リソースルームの活用

◆【基礎的環境整備】

教室表示をどこのクラスに変更  
001年6組

保健室

授業の見通し  
が持てる板書

校内案内図  
の掲示

\*『インクルーシブ』=全てを含んだ

### ☆コロナ禍における P T A 活動

コロナ禍における P T A 活動は、残念ながらその前後で活動内容を変える必要がありました。

今回の発表ではコロナ前と後で活動をどう変えたのか、どのような工夫をしたのかに注目をして発表をしていきます。

### ☆津久井浜 P T A は止められない！

コロナ禍であっても津久井浜 P T A は止まりません！そんな津久井浜 P T A の活動をご紹介します。

#### ○運営委員会

今年はスポーツフェスタでのドリンクの差し入れや、津浜祭でおにぎりの販売などを行いました。

ドリンクの差し入れは、コロナ前は紙コップでの手渡しでしたが、コロナ後はペットボトルでの配付といった形で感染対策をしつつの支援を行いました。また、津浜祭の販売においてもコロナ前は手作りもしていましたが、コロナ後の今回は個包装の販売のみで一切、手を加えませんでした。

大変でしたが、生徒たちの嬉しそうな顔が見られてとても嬉しかったです！





### ○学年委員会

生徒たちの進路に関係する大学見学会を企画し実施しました。また、運営委員会と協力して津浜祭に出店もしました。

コロナ後の大学見学会に安心・安全に参加できるよう、バスは二人分の席を一人で使用し、会話を慎んでソーシャルディスタンスを保って行動しました。また、食事に関してもコロナ前は学食利用でしたが、今回は安くておいしい弁当を準備して感染対策をしました。

コロナ禍の中で開いた大学見学会でしたが、「参加できてよかった」「貴重な経験ができてよかった」といった感想をいただけて一安心しました。

### ○広報委員会

広報誌「つくいはま」を年三回発行しています。学校行事はまだまだ制限されているところがありますが、それでも段々と再開されてきた行事の様子を記録するため、複数人で押しかけないなどの感染対策を意識しながら活動をしています。コロナ禍で取材が減った分、身近なテーマを取り上げて取材する等の工夫もしています。

### ○あんぜん委員会

校内安全点検（パトロール）やセイフティカードの配付をして、生徒たちの安全と健康を守るよう日々活動しています。コロナ禍によって活動範囲を狭くせざるを得ませんでした。その分校内のパトロールなどに力を入れました。また、コロナ禍に関係した厚生労働省のポスターを掲示するなどの活動を追加で行いました。

### ○成人教育委員会

PTA 会員の保護者の皆様との親睦を図る事を目的とした研修旅行・講習会などを企画しています。コロナ前は貸切バスで施設を見学していましたが、コロナ禍の今年は現地集合現地解散の形で『鎌倉殿の13人』の舞台ともなった鎌倉の研修旅行を行います。ランチに関しても感染対策がしっかりとしたお店で安全に楽しめるよう、工夫して計画をたてました。

### ☆さいごに

続くコロナ禍のせいで窮屈な思いをする日々が続いています。しかし、それに私たちが負けるわけにはいきません。

これからも何ができるか考え、できる中で精一杯活動をしていき、決して勢いを失わない活気あふれるPTA活動を続けていきたいと思えます。

コロナだろうがなんだろうが、津久井浜 PTA は誰にも……止められない！

